

きたひろしま

# 議会だより

vol.31  
2013・2・1

八重西地区とんど



## 第4回定例議会〈会期：12月5日～12月14日〉

- 平成24年度12月補正予算 ..... P2
- 平成24年11月臨時議会・12月定例会質疑・討論 ..... P3～4
- 一般質問 18議員が町政を問う ..... P5～13
- 委員会報告 ..... P14～15
- 意見書提出 ..... P16
- がんばってます！（八重東小学校・芸北小学校） ..... P16～17
- グループ紹介 ..... P18

平成24年度12月補正予算

# 一般会計6億円を計上

## ▼一般会計12月補正予算の概要

- 町道、国・県道除雪費 **1億6,100万円**
- 壬生小学校整備事業 **1億648万円**
- 障害者自立支援給付費の追加 **2,330万円**
- 地域イントラネット更新作業 **2,325万円**
- 暗渠排水事業（国の緊急対策） **1,000万円**
- 生活用水整備の補助金追加 **590万円**
- 財政調整基金積立金 **2億円**



## 12月補正予算の規模

会計名		補正前	補正後	補正額
一般会計		153億6,620万円	159億6,620万円	6億円
特別会計	国民健康保険	22億8,200万円	23億1,300万円	3,100万円
	介護保険	23億5,130万円	25億2,290万円	1億7,160万円
	情報基盤整備事業	4億3,400万円	4億4,050万円	650万円

※一般会計の補正前金額には、11月19日に専決処分した補正額2,320万円を含む。（衆議院選挙費用）

# 12月定例会

各議案に対する  
質疑

【一般会計補正予算】

問 生活用水の取水設備補助金の今回の補正額で不足する場合、さらに増額する考えは

答 必要になったら補正する

問 2億円の財政調整基金積み立ての理由は

答 23年度の繰越金が確定したため、その2分の1を下らない額で積み立てるか、繰り上げ償還するかの法上の手続きによるもの

問 大塚小学校跡地の管理は

答 基幹集会所とし、指定管理として協議していきたい

問 スノーフェスティバル開催日はスキー場関係者と協議すべきでは

答 来シーズンは考えている

【道の駅設置及び管理条例の改正】

問 利用料の減免の対象は

答 公共的な団体が検討対象になる

問 グラウンドゴルフ場はコースで認定申請するのか

答 2コース申請し、常設は1コース

問 団体割引は

答 考えていない

問 緑の広場を将来は駐車場にする考えは

答 緑の広場として大事にしていく

【指定管理者の指定について(仁愛園)】

問 町職員が退職して仁愛園に残った場合、現在の給与はどうなるか

答 定年までの現給保障

問 「赤字を引き継ぐ」ことが指定管理の条件

答 赤字はない

反対討論 賛成討論

議案第86号  
道の駅設置及び管理条例の改正について

反対討論

大林正行

①都市公園条例の改正をしないで道の駅設置管理条例の改正を行うことは法体系上矛盾している。

②貸切でグラウンドゴルフ大会をするときの使用料が他の競技と比較して3・5倍以上になる。グラウンドゴルフだけ高い使用料にする合理的な理由がない。  
③非営利部門を含め一括委託し、その収支が初年度から黒字になるという想定はあまりにも現実からかい離している。にもかかわらず契約期間中の撤退を禁止する条項がないため、赤字は町民の負担となる。

議案第88号  
指定管理者の指定について  
(養護老人ホーム仁愛園)

反対討論

美濃孝二

指定管理に何もかも反対するものではない。しかし職員からは

「町職員として残ったとしてもパソコンも使えないようでは、他の職員のお荷物になり迷惑をかけるので辞めざるを得ない」「仁愛園に残りたくても町職員でなくなり、いくら現在の給与額を退職まで保障されても、その他の保障はない」など不安は解消されていない。指定管理になるというだけで、長年町職員として働いてきた方に対する処遇としてはあまりにも冷たい仕打ちであり、とても納得できるものではない。

# 11月臨時議会

各議案に対する  
質疑

【道の駅舞ロッドIC千代田第2期整備事業  
工事請負契約の締結】

問 工事保証金は取らないのか

答 保証協会の保険に入る

問 町内業者が入れないような入札制度ではなかったのか

答 一般競争入札で公告したものであり公平である。下請けは「原則町内業者」とし、入りやすい環境をつくる

問 全体の投資額と財源内訳は

答 投資額は4億4200万円、財源は農水省交付金が9150万円、社会資本整備交付金が4700万円、過疎債が2億4700万円、残り5650万円が、一般財源である

問 今までの芝生広場に食い込む建物の面積は

答 測量後でないと答えられない

問 レストランの具体的な収支計画がないのに請負工事の賛否判断はできない

答 現在策定中。道の駅設置管理条例を改正するときに示す

問 万一赤字になって町民には負担させないとの約束できるのか

答 業者に収益をあげる経営をやらせよう

問 グラウンドゴルフの専用コースは作るのか

答 1コースは常にグラウンドゴルフができるようにする

11月臨時議会

反対討論 賛成討論

議案第84号  
**工事請負契約の締結について**  
 (道の駅舞RoadIC千代田)

反対討論

美濃孝二

採算がとれるかどうかあいまであり、ムダな投資になる可能性がある。絶対に町民の負担にしないと断言しない。1億5千万円増額分のうち7千万円以上は町民の負担増になる。グラウンドゴルフ場がこれまで通り使えなくなる。いま多くの町民は高い税金や保険料の負担に悩んでおり、このようにときに採算がとれるかどうかわからない豪華な道の駅に多額の税金をそそぎこむことは見直すべき。このように多くの問題を抱えたままでは町民の納得をえられない。

賛成討論

真倉和之

千代田の道の駅は場所的にも素晴らしい位置にあり、北広島町の玄関口であると同時に北広島町の顔となるよう、町民が心を合わせて進めなければならぬ。5年後には農業振興も進み、農家の所得も向上したと喜びを分かち合えることを信じ、小異を残して大同を進むことを確信する。

反対討論

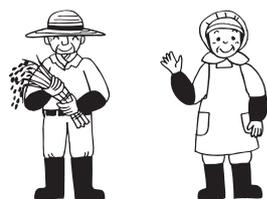
梅尾泰文

今回の工事契約の後、大きな太鼓、舞台装置・照明・音響、厨房、その他含め1億5865万円が使われる。これから先の方針が変わらない限り、この必要以上の経費が使われることが予想され、こゝまで華美な道の駅整備事業をする必要はない。

賛成討論

中田節雄

この道の駅は町づくりの中核、命運をかけた施設であり、大きな投資になるが一つのメインになる核ができる。お年寄りにとっても物が売れ、働く喜びが味わえる場となり、元気な老人をつくる。もっと事業規模を小さくして小さい道の駅を作っても、どこにあるかわからないようではどうにもならず、インパクトのあるものをつくらなければならない。



提出議案審査結果と各議員の賛否

○賛成 ●反対

議案名	藤堂	蔵升	梅尾	田村	美濃	室坂	浜田	真倉	久茂谷	藤井	中村	日山	大下	箕牧	宮本	亀岡	中田	大林	伊藤	審議結果
【11月臨時議会】																				
工事請負契約の締結について(道の駅地域振興施設建設工事)	○	○	●	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【12月定例会】																				
水道事業の布設工事監督者の配置基準並び水道技術者の資格基準に関する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道の駅設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について(養護老人ホーム仁愛園)	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
過疎地域独立促進計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 芸北財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 情報基盤整備事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度 水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情審査 地方財政確立と地域公共サービス充実を求める要請	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情審査 公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情審査 夜勤改善と大幅増員で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 地方財政確立と地域公共サービスの充実を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 夜勤改善と大幅増員で安全・安心の医療・介護を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 放射能汚染土壌等の取扱いの撤回を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※加計議長は採決に加わりません

※陳情審査の『公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願』は第181回国会において該当法案が成立したため不採択とした

# 18議員が町政について問う

どうなる？ 私たちのまちづくり



日山 静樹

**問** 安心安全なまちづくりについて問う

**答** 行政、消防団、地域住民で役割を担いながら地域防災に努めていく

**問** 消防水利は万全か。防火水槽の定期点検、また町内設置数は

**答** 水路は農業用と消防水利の役割を果たしている。防火水槽を消防活動に利用し点検は消防団で行っている。

**問** 消防団の団員は本業を持ちながら日常の訓練を通じ、町民の生命・財産を守るため

**答** 総務課長 日夜努力されており、そのご労苦に感謝している。全国的に高齢化も進み団員も減少傾向にあるが、本町の条例では定員は795名となっている。現状は

**問** 住宅火災報知器の重要性を積極的に訴えるべきだ。本町の設置状況は

**答** 消防長 本年5月PRハンドブックを配布し設置をお願いした。設置状況は81・5%。

**問** 団員の確保が困難であり団員が地元の方を勧誘している状況である。

**答** 総務課長 現在770人。

**問** 女性消防団が活躍している自治体もあるが本町は

**答** 総務課長 本町には現在1名。豊平地区では女性防火組織が4地区であり活動している。今後考えていく。

**問** 町内企業に勤務している団員が就業中出勤しやすい状況を企業に訴えるべきである

**答** 総務課長 関係企業にご理解を頂き有事の際の出勤を理解いただくよう努力する。

**問** 水稲作をはじめ大半の基幹作物は、収穫も終わりこれから農閑期に入る。次の点を問う

**答** 産業課長 ①生産数量目標は1万570トン、面積換算値は2080ha、水稲作付面積は2077ha。



中村 勝義

**問** 主要農業振興策の実績と成果を問う

**答** 事業実績と成果は、次のとおり

**問** ②戦略作物のみ実績では、大豆37・8ha、麦65・3ha、飼料作物91・0ha、飼料用稲48・0ha、米粉用米57・3ha、ソバ59・8ha。

**答** ③米の所得交付金は、2159件で2億7099万円、大半は12月13日交付予定、水田活用交付金は1月末、産地資金は3月予定。

**問** ④実績見込みで協定数161、面積2846ha、交付額3億7211万円、3月上旬予定。

**答** ⑤実績見込みで農業技術大学校就学支援補助金3名で交付額34万円、就農研修支援

**問** ⑥提出地区21、新規就農者の確保が見込まれる地区6、農業法人等による農地集積地区3。

**答** 交付金3名で270万円、経営安定支援交付金1名で国の青年就農交付金を含み231万円、初期投資支援事業は1名で500万円。

**問** ⑥提出地区21、新規就農者の確保が見込まれる地区6、農業法人等による農地集積地区3。

**答** ⑥提出地区21、新規就農者の確保が見込まれる地区6、農業法人等による農地集積地区3。



→新規就農者施設(豊平)



真倉 和之

**問**

地域医療を守る豊平病院の  
経営改革の実情を問う

**答**

地方公営企業法の適用で  
経営改善に取り組んでいる

を招いた。

**問**

地方公営企業法第2条の全部適用は、病院経営改善  
医業収入アップ経費削減、交付税算入額以上  
一般会計から繰入れを  
行わない。

5年以内に単年度黒  
字化を図るとされた結  
果を問う

**答**

豊平病院事務部長

交付税算入額  
以内の繰入を行ない単  
年度黒字化の結果は、  
黒字年度が平成19年、  
21年、22年、赤字年度  
は平成20年、23年で差  
し引き4793万円の  
赤字で、経営健全化計  
画は医療体制維持が前  
提で平成23年度は常勤  
内科医不在により患者  
数の減少、医業収益の  
減少で経営状況の悪化

**問**

地域医療を守る豊平病院の  
経営改革の実情を問う

**答**

地方公営企業法の適用で  
経営改善に取り組んでいる

を招いた。

学校教育施策の

キーワードを  
変更された体力  
向上の成果を問う

**問**

平成24年度広  
島県小学校の体

カテストで県下一  
位となったが、北  
広島町の義務教育  
において今後集中  
力、持久力の持て  
る体力づくりは、  
学力向上とどう調  
和を持って進めら  
れるのか問う

**答**

教育長

学力体力  
規範意識には相関  
がある。全国的に  
も秋田・福井県は  
体力学力が高い。



豊平病院



亀岡 章治

**問**

産廃処分場計画地元反対100%  
生かすべきは住民の願い

**答**

業者による地元理解を得る  
努力が最優先だ

畑地区の産廃処分場  
計画は、地元100%  
によって飲料水や生活  
用水の源流域とする千  
代田、八千代、可部か  
ら8千数百名の設置反  
対の署名が県や町へ提  
出されている。関係地  
域住民の意見こそ尊重  
されるべきだ。

**問**

12月1日の  
県・町の地元説  
明会は、事業の推進を  
目的としたものか。

**答**

町民課長

2年前の地元  
調整打ち切り後の県・  
町の取り組み、申請書  
等の修正など産廃処理  
法上の手続きの整備進  
捗状況を説明した。

**問**

産廃処理法で  
は、関係地域の

**問**

産廃処分場計画地元反対100%  
生かすべきは住民の願い

**答**

業者による地元理解を得る  
努力が最優先だ

同意は必要ないと聞い  
ている。地元の意向は  
無視されるとすれば、  
法律上の不備ではない  
か

**答**

町民課長

法律上許認可  
要件や許可基準に申請  
書、添付書類に関係地  
域住民の同意の記載は  
求めている。地元と  
しては、生活環境保全  
上の意見を述べること  
は可能だ。

**問**

安定型、管理  
型両処分場予定  
地は、根の谷川支流の  
上流下流の関係にあり  
処分場拡大の可能性が  
あり大問題だ

**答**

町民課長

地元の心配は





中田 節雄

**問** 集落機能を維持するためには、行政区の再編成が必要では

**答** 検討会議のなかで、大きなテーマとして検討する

**問** 高齢化で、集落の機能が低下してあり、60代の比較的若い方に役割が集中し負担が大きくなっている。行政区長や民生委員を選ぶのも大変であり、高齢化と限界集落で、地域の世話をする方が少なくなっている。集落の再編が必要と考えるが、見解を問う

**答** 総務課長 行政区の戸数も大小あり、再編は地域住民の理解があつてなされるものであり、行政が主体的に進めていくことは難しいと考える。しかし、高齢化による現状と問題は承知しており、関係者として関係機関で検討会

**道の駅** (舞ロードC千代田のレストランの食材について)

**問** 地元食材を使うた料理を提供すると説明されているが、この地方は、食について昔から石州(浜田)との交流があり、料理についても浜田の魚を食材に加え、この地方の食文化を大切にし、他の道の駅との違いを明確にするべきではないのか問う

**答** 産業課長 野菜中心のメニュー構成ではあるが、伝統的な食文化にも触れて頂く工夫もこらす

必要がある。浜田の海産物をメニューに加えることも意義があり、開発に努めていく。



→道の駅完成予想図



大林 正行

**問** 道の駅レストランの収支計画は

**答** 初年度の売上5700万円、黒字900万円を想定

**問** 道の駅の運営方法は

**答** 建設課長 産直、レストラン、緑の広場などすべてを一括して民間に委託する。

**問** 初年度の産直売上を現在の1.5倍にするというが、生産体制はできているのか

**答** 産業課長 農産物生産力強化事業に取り組み、出荷者の皆さんに沢山の野菜を出してもらおう。

**問** 現在の道の駅の収支は赤字だが、黒字にするため販売手数料を上げるのか

**答** 現在の道の駅の収支は赤字だが、黒字にするため販売手数料を上げるのか

**答** 産業課長 15%の販売手数料は上げない。

**問** レストランの利用人数と客単価は

**答** 産業課長 平日112人で、単価は1300円である。

**問** 事業が赤字になった場合、町が指定管理費として補てんするのか

**答** 産業課長 赤字の責任は指定管理者にある。

**問** 分離発注する太鼓等はいつ議会に提案するのか

**答** 産業課長 予定価格が5万円未満なので議決案件とはならない。

**問** 緑の広場はいつでもグラウンドゴルフができるようにするのか

**答** 産業課長 認定コースとなるよう日本グラウンドゴルフ協会へ申請する。

**問** グラウンドゴルフの使用料を他の競技より割高にする理由は

**答** 産業課長 グラウンドゴルフの使用料は1コースなら200円、2コースなら300円。団体割引は導入しない。



室坂 光治

### 問

これからの学校の在り方について問う

### 答

各学校ごと体・徳・智の計画をたて実施する

北広島町は児童数の減により

小学校を統合しなくてはならないことになり大変残念なことと思う。先人大先輩が築かれた学校が無くなることは非常に寂しいことである。学校の方針が変わり、今は体・徳・智となっている。本当に基本になるものが全生徒に伝わっているのか。今後豊平地域は小中一貫校「豊平学園」が来年度から始まる。児童生徒にわかりやすく教えて頂くには、先生と保護者・児童生徒の会話が必要と思う。小中一貫校についての進捗状況を問う

### 答

教育長

体・徳・智と

というのは、現在北広島の子どもの体力に課題があり、体力向上を目指すということである。町内の小中学校はこのキャッチフレーズを基に、各学校の計画をたて教育活動を行っている。学校では計画に基づき、PTA総会あるいは学校、だより等で保護者に説明し進捗状況を報告している。今後は、きたひろしまの「町政の窓」を通して広く町民の皆様にご報告していきたいと考えている。小中一貫校として来年度スタートする「豊平学園」の目指す児童生徒像、9年間の学校生活を考慮した指導目標もすでに決定しており、今後保護者の皆様にご周知する予定。



→小学校陸上記録会

### 問

小規模農家と北広島町産直市の取り組みは

### 答

農家に出向き出荷依頼と情報提供をする

産業課長

### 答

道の駅舞踊

農業を取り巻く環境は近年大きな変化が見られる。特に小規模農家は激減している。その原因は高齢化による生産意欲の減退と安定した収入が得られない状況がある。第2次道の駅整備事業は北広島町の農業振興が大きな目的であり、現状の2・5倍の面積となる売り場に対し出荷農家の増大は最も必要な課題と考える。そのためには農家に情報提供と営農指導を徹底し、収益につながる道筋をたてて生産農家の拡大を図ることが必要である。小規模農家の集合体が北広島町全体の産直市を大きな市場へ変えようと考えるが今後の取り組みを問う

道が核となり、他の産直市と連携し北広島町の農業振興を図る。農家に対して産直市のPRはまだ不足している。今後情報提供や営農指導体制を各農家に出向き啓発をしていく。そこで産直市のシステムを伝え、出荷農家を拡大して行き多くの参加者が生まれ作る仕組みにより農業所得の拡大



→さくら市(豊平)



藤井 勝丸

**問**

竹下町政(2期8年)の実績と反省

アメとムチによる合併、どこの市や町も新町に借金を持ち込んだのが実態だ。合併時破たん状態にあった財政を健全化し、企業誘致の実績を強調されているが健全化の主な要因は

- 合併による国や県からの(アメの部分)支援、国の緊急経済対策
- 職員及び給与の削減、各種補助金の削減、使用料の値上げ
- 町議会議員は在任特例は適用せず定員20人(但し1期は26人に)

**問**

「財政の立て直し」町民の理解・協力へ感謝の思いは

**答**

「ご支援ご指導のお蔭、身を切る思いで行政改革を進めてきた」

●

旧千代田町の新庁舎建設(H13年約20億円で建設)をしていったことなどがある

これまでの施策に努力された方、理解・協力頂いた町民への謝意が先決ではないか。また企業誘致の実績はどうか

**答**

町長

身を切る思いで合併を進められたことに敬意を表します。財政の立て直しには、変化に対応した行財政改革を進めてきた。企業誘致には、企業誘致促進条例を制定するなど、積極的に推進し成果を上げている。

**問**

新町建設計画の千代田ふれあいセンター(H17~18の予定)・蔵迫地区公民館(H20~21の予定)の整備計画は

**答**

町長

「きたひろネット」の整備、生活交通など緊急、重要な事業を進めてきた。ふれあいセンターは整備の在り方、財政状況を見て検討する。また、蔵迫公民館は耐震性の結果から補強か建て替えかを検討している。



→蔵迫公民館

**問**

新町建設計画にある千代田地域のふれあいセンター(旧千代田町役場跡地)構想を、老朽化の進んでいる千代田中央公民館、社会福祉協議会千代田支所、さらに図書館、そして緊急性の問



梅尾 泰文

**問**

福祉健康センター(仮称)の建設を!

**答**

早い時期に進めていく

われら温水プールもこの箇所にとめて建設できないか。それぞれを単独で建設すれば経費はかさむが、一箇所にとめれば屋根も壁も共有できコストも下がる。また、人員配置やメンテナンスも容易になり、駐車スペースも一箇所ですみ利用者も便利になる

**答**

町長

温水プールは緊急性が問われているので、予定どおり千代田総合体育館の隣地に体育施設として設置す



→千代田中央公民館 図書室

るのが自然だろう。町民の文化・福祉にかかわる施設は老朽化が進んでおり、建て替えも必要。なるべく早い時期に財政状況を見ながら進めていく。

→社会福祉協議会 千代田支所





箕牧 智之

**問**

被災地福島県浪江町に支援を

**答**

行政のOB職員を派遣したい

**問**

福島県浪江町の町長が8月6日、平和記念式典に來られ、原発事故によって放射線に汚染された浪江町に住むことが出来ず戦後の復興した広島に学びたいとのことであった。10月我々文教厚生常任委員会浪江町の仮設住宅に暮らす高齢者の実態を調査に行った。原発事故で自分達の町を追われ知らない土地の仮設住宅に暮らしている高齢者の実態を見て、誠に気の毒で涙の出る思いを感じた。今後わが町として継続的な支援、交流をしてはどうか。

議員、行政職員今す



→仮設住宅内に設置されている放射線測定器

→仮設住宅内に設置されている放射線測定器

**答**

副町長

健康不安をかかえ、浪江町の町民は日々の暮らしが失われている。



→仮設住宅内の視察

とりわけ町民の健康管理、賠償、除染等々困難な問題に取り組んでおられる。復興計画に対する膨大な事務に職員の応援要請が本町にも来ている。経験豊かな行政OB職員の派遣を考えている。カンパについても考慮したい。

**問**

少子化が進む中、人口減少の歯止めをかけるためには、若者の定住促進が極めて重要である。現在の定住促進の対象者は、町外定住者に限られていて、町内の若者が生まれた家や地域に帰って家を新築・改築しても何の支援もない。限界集落が増える状況の中、若者の定住は地域のリーダーにもなり、大きな力と活力を生む。町内の若者定住にも住宅建築補助制度の拡充をすることで経済効果も生まれ、効果も生まれてくると考えるが



宮本 裕之

**問**

町内の若者に対する定住支援の拡充を

**答**

転出抑制も考慮し、新たな制度を立ち上げる

**答**

町長

住宅建築費補助制度は新規の転入者に対してこれまで行ってきたが、転入促進に加えて転出抑制にも着目し、どのような制度が良いか、町商工会、青年部・女性部等の意見も伺いながら研究を進めて行き具体的な制度を立ち上げたい。



→リフォームする住宅

**問**

「州都北広島」で夢のある道州制議論を

**答**

町長

道州制の内容・あり方が明確にされていない状況にあり、地方分権と共に今後の大きな課題と認識する。州都誘致に関心は高いが現段階では申し上げる時期ではないと考える。



美濃 孝二

**問** 子育ては経済的にも精神的にも負担感が多く総合的な支援策が必要。中でも医療費は子どもの命にかかわり、経済状況によって格差があつてはならない。そのため私は過去2回の一般質問で無料制度の拡充を提案してきた。全国では中学卒業まで無料の自治体は4割となつてい

**問** お金の使い方を変え、中学卒業まで医療費を無料に

**答** いろいろな角度から研究・検討をすすめている

はどう思うか

**答**

町民課長

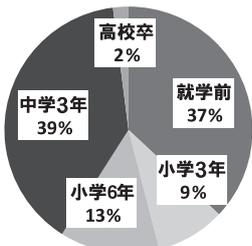
子育て施策の中でどのように位置づけられているのか承知していない

**問**

かつてと比べ若者の収入が激減し結婚もできないことが社会問題となつて

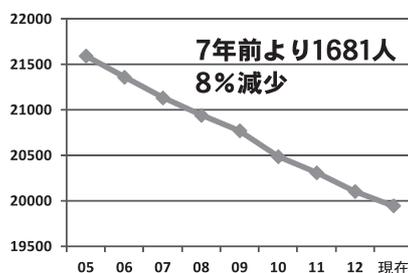
いる。北広島町も人口減に歯止めはかかつておらず、このままでは町そのものが維持できなくなる。しかし北広島町の通院無料は「就学前まで」だが、日本共産党北広島支部のアンケート調査では「中学卒業まで」が3割、「小学卒業まで」が2割、「高校卒業まで」が1割と6割以上が拡充を求

全国の自治体における通院無料制度の割合



近隣では昨年から鳥取県が全市町村、岡山県も8割近くが実施、このような状況を町長

人口減少に歯止めがかかっていない



7年前より1681人  
8%減少

めている。中学卒業まで無料にする費用2500万円は町予算の0.17%、道の駅増額分1億5千万円は6年分にもなる。お金の使い方を変え実施してはどうか

**答**

町長

総合的な施策の中で位置づけが必要であり、色々な角度から研究・調査している。



濱田 芳晴

**問**

合併時基金は皆無に近く、本町は財政再建団体(当時北海道夕張市は国の管理する自治体)になるところであった。以

**問** 基金14億円の積み立てで安心なのか

**答** 目的をもち有効な使用方法を考える

て有効な使用を考える。

**問**

定住と交流の成果を問う

**答**

町長

立地定住推進室を立ち上げ、企業立地を推進した。また、求人情報センターを設置し求人活動をおこなつた。空き家情報バンクでは186名の定住があり、新規若者定住者の住宅補助事業で47名の定住・新規就農対策室で農業研修者3名、経営開始者4名の定住をみた。観光交流人口は23年調査では、スキー民宿、グラウンドゴルフ、道の駅などで30万人以上の増加を達成した。

来8年間本町は財政の健全化に取り組み、議員もやってもらいたい事業も我慢、職員・議員・各委員会の定数適正化などにより、14億円の基金が積み立てられ、一般財のいる事業も出来る様になった。ズバリ基金はどれ位必要なのか聞く

**答**

財政課長

合併時は苦しい財政状況であったが、今議会でも交付金の内2億円を積み財政調整基金は16億円強になった。今後は目的をもつ



↑建設中の若者定住促進住宅(志路原団地)

**問**

周辺部に若者が定住できる安い若者向きの住宅、子育て支援対策に、基金の使用方法を考えてはどうか

**答**

町長

基金については、目的をもった使用を考える。



伊藤 久幸

**問**

新町建設計画の見直しと  
平成25年度予算編成は

**答**

必要性・緊急性・重要性を  
考慮し推進する

**問**

北広島町が誕生して8年経過、本町をとりまく環境の変化、財政状況を勘案すると新町建設計画の見直しの時期と思うが本町の考えは。旧町単位の進捗状況はどうか

**答**

町長

合併特例債発行は期間延長で平成31年度までとなる。社会情勢の変化、財政状況、政策課題等々を踏まえ必要性、緊急性、重要性を考慮し推進する。現時点で当計画の変更は必要ない。進捗率（事業費ベース）大朝26%、千代田45%、豊平26%、芸北44%、総事業（旧4町）47%の進捗率となる。

**問**

平成25年度骨格予算2月、本予算6月に編成される。新町建設計画、新規事業、若者定住、子育て、自然再生エネルギー等々の支援策、加計山麓の利活用など予算編成にどのように生かされるか問う

**答**

町長

若者定住は新補助制度拡充、子育て支援は育児費、医療費、保育料の軽減等々見直し拡充、新エネルギーは、本町の特性を生かし施策展開、加計山麓は非常に豊かな

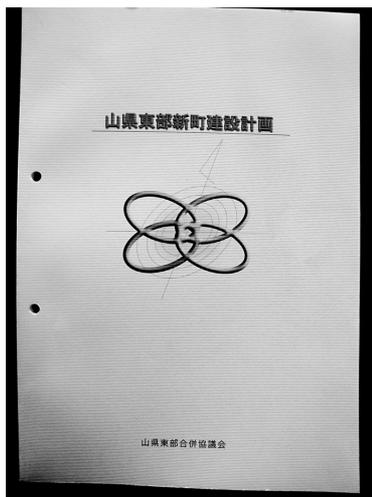
**問**

社会保障制度の充実と公共事業投資は

**答**

町長

財政基盤は一定の水準に達し財政運用の見直しも立ち、経済政策、少子高齢化対策を基本とし、より以上の事業展開を進める。



→新町建設計画表紙



田村 忠紘

**問**

豊平小学校（仮称）の開校は  
計画どおりか

**答**

9月1日開校は困難かも

**問**

現在、豊平小学校（仮称）校舎の基礎工事中である。北側壁面の崩壊で工事が約2ヶ月間停止していたが、一連の計画に与える影響は。通学バスの回転場が

**答**

学校教育課長

北側法面のブロック擁壁工事中、1・



→小学校工事中

4mの床掘りを行ったところ、掘削面の崩壊が始まり、約2ヶ月間工事を停止した。更なる崩壊防止のため、法面の71箇所鉄筋を挿入し、モルタル吹付け後にブロック擁壁を構築する。

この間、約2ヶ月のブランクが生じ工期の遅れが予想される。従って、夏休みの時期変更も含めて検討するが、当初の予定、9月1日開校が困難な状況になっている。バス回転場は、地権者と耕作者の理解が得られた。農地法に係る許認可、警察との協議、設計作業は豊平支所で行い、平成25年度に発注し開校までには完成させる。



大下 正則

**問**

明神ハイツ上水道事業の  
進捗状況

**答**

具体的な方策を地元と協議し  
早急に進める

**問**

平成22年9月、平成23年6月、地域の事態について2回の質問をし、「今後慎重な検討が必要」と答弁があったが、本地明神ハイツの上水道を行政管理に移管できないか。また十分に水がある水を明神橋に共架している水道管に接続し、水不足の丸押集落に供給できないか再度質問する

**答**

町長 明神

ハイツ、丸押集落の問題は十分聞いてい



→明神橋から丸押をのぞむ



具体的な成案は出来ていないが管理移管、生活用水の確保等について地元の方々と協議し、実現するためのシミュレーションをし、時間をかけずに進めていく。



蔵升 芳信

**問**

定住と交流の  
拡大施策について問う

**答**

定住促進策等商工会と  
勉強会を行っている

**問**

①千代田地域幹線道路未整備区間の整備完了予定時期などの見通しについて

**答**

建設課長

①国道433号(舞綱〜蔵迫)は平成26年度完了。浜田八重可部線(川井)は、下流側350mは平成26年度完成、残る区間はもう少し時間を要する。

②国道261号明神峠に登板車線の整備が必要、広島市への働きかけを積極的に行う考えは

千代田八千代線(畑)は検討がされている段階、早期整備を働きかける。

③新規定住者建築費補助制度の見直しについて、町長3期目への公約に、町内居住者にもこの制度の適用を拡充するとあるがその内容は

企画課長

③住宅建築費補助制度については、町内居住者の転出抑制の観点からも検討している。

④商工会青年部等が、空き家を再生して定住促進を図る取り組みを行っているが、こうした取り組みへの支援は出来ないか

町長

②国道261号の改良要望については、広島市に具体的に実情を話し、強く働きかけをおこなって行く。



↑交通の難所「明神峠」

**問**

町が行うメイン事業情報発信は十分に

**答**

町長

情報は非常に重要、検討を行う。

# 委員会報告 視察研修報告

## 総務常任委員会

11月21日  
～11月22日

### バイオマスタウン真庭

平成17年に9町が合併して人口5万人の真庭市が誕生、総面積828km<sup>2</sup>以内79%が森林で自然豊かな町である。

木材輸入の完全自由化により外材が大量に輸入され、国内の木材価格が大きく下落した。真庭市では放置された林地残材をバイオマス資源として活用していること、様々な取り

組みが実践されている。

木材資源を地域内で循環の実現、安定供給体制の構築を目指し平成21年4月『真庭バイオマス集積基地』が完成し、森林から排出された林地残材や製材の際に発生する木くず、樹皮などが燃料や資源に加工されている。

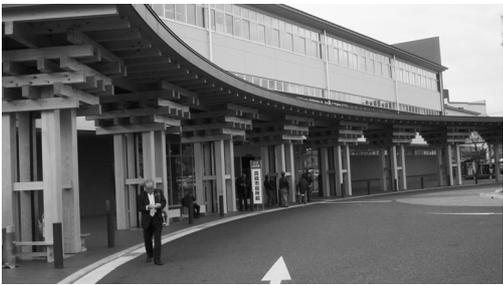
バイオマス燃料の製造だけでなく、産業、農業、市民生活といった様々な分野で、バイオマスストーブやボイラーを設

集積された木材をアームで上手につかみ備えつけられているチェーンソーで切ってチップ工程にまわっている。その操作に感心した。



木材集積場

置するなど、地域資源を地域活性化に役立てており、木質バイオマスエネルギー自給率は11・3%(全国平均3.6%)である。



真庭市役所玄関

### 兵庫楽農生活センター

#### 楽農レストラン

#### 『かんでかんで』

兵庫楽農センターは、市民農園の利用など、農に親しみやすい人や新たに農業を始めた人を対象に、農作物栽培に、必要な知識や技術を習得するため事業展開されている。

#### 楽農生活センター楽農学校の

#### 事業概要

12時前であつたが110席あるテーブルはほぼ満席状態であつた。

#### 【新規就農駅前講座】

農業に関心のある人を対象に基礎的な農業知識を習得する研修

#### 【生きがい農業コース】

市民農園利用など、基礎的な農業の知識と技術を習得する研修

#### 【就農コース】

就農を目指す人に野菜栽培から農業経営まで、総合的な知識と技術を習得する研修

#### 【アグリビジネスコース】

新たな農産物加工や直売を希望する農業者を対象に、知識と技術を習得する研修

#### 【親子農業体験コース】

親子(家族)を対象に田植えから稲刈りまでの稲作栽培を体験する教室



『かんでかんで』食事風景

# 産業建設常任委員会

10月30日  
～11月1日

## 農林水産省経営局就農・女性課

「青少年就農給付金制度の財源確保及び円滑実施」について、現況確認及び持続的制度の要請を行なう。また、事業実施における本町の課題点、要望点、現状等を報告。合わせて今後の改正の必要性も訴えた。



## 群馬県榛東村

「ソフトバンク榛東ソーラーパーク」を視察。村有遊休地（ゴルフ場跡地）に整備されたメガソーラー施設で、設備容量は2.4メガ、年間予定発電量は268万kW/h（一般家庭740世帯分）

## 群馬県桐生市

温水プール「カリビアンビーチ」を視察。桐生広域清掃センター建設に伴う地元還元施設で、ゴミ焼却による熱源を利用した発電電力及び熱源の有効活用施設として建設された施設。  
建築面積5214㎡、工事費30億円、年間利用者数20万人。

## 群馬県藤岡市

道の駅「ららん藤岡」を視察。高速道路インターチェンジに隣接した、規模的には非常に大きな道の駅であり、施設内には高速バスの駅もある。  
施設中央に「ふれあい広場」、それを取り巻くようにミニ遊園地、産直市場、食品市場、各種の食事処、花の交流館等があり、様々なイベントも開催されている。  
道の駅「舞ロード千代田」にも活かしたい内容が各所に見られた。

# 町内視察

12月7日

## 犬追原(天朝)残土処分場

県施工土木事業の残土処分地として計画搬入予定量15万㎡の処分場で、現在一部残土の搬入が完了している。

## 芸北広域農道(芸北トンネル)

延長1068mのトンネルで、掘削工事はほぼ完了し、現在覆工コンクリート工事を施工中。完成は平成27年3月の予定。



芸北トンネル入り口(豊平側)

## 豊平地域新規就農者

初期投資支援・経営体支援事業  
施設（ビニールパイプハウス19棟）  
事業費約2千万円（補助額9百万円）

## 町道壬生南方線道路改良

（平成23年度繰越分）

## 氏神工業団地

工場増設・メガソーラー建設現場等を視察。



メガソーラー工事中の氏神工業団地

## 意見書提出(議員提案)

### 地方財政確立と地域公共サービスの 充実を求める意見書

1. 地方財政計画の策定については、自治体との十分な協議のもとに、災害対策の充実、子育て支援、地域医療確保、環境保全などの地域の社会保障に対する行政需要を的確に反映させるため、地域公共サービスが低下しないよう実態に見合った財源保障を実現すること。
2. 国家公務員の給与改定・臨時特例法による減額を地方財政計画・義務教育費等国庫負担金に反映させることなく、各自治体の自主的・主体的な財政健全化に向けて一層の支援を行うこと。
3. 医療、福祉、介護、子育て・教育、環境などの公共サービスの水準を維持・向上させるには十分な定員が必要であり、そのために地方公務員の総人件費の十分な確保を行うこと。
4. 地方自治体の恒常的な財源不足にもかかわらず、長年据え置かれてきた地方交付税の法定率を引き上げること。

【提出先】

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣

### 夜勤改善と大幅増員で

### 安全・安心の医療・介護を求める意見書

看護師等の大幅増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・介護の拡充を図るため次のとおり要望します。

1. 看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内とし、勤務間隔を12時間以上とすること。
2. 医療、社会保障予算を増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
3. 国民の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

【提出先】

内閣総理大臣 厚生労働大臣 財務大臣 文部科学大臣  
総務大臣

### 放射能汚染土壌等の取扱いの撤回を求める意見書

1. 地元にもまったく知らされず、事前の説明もないまま一方的に候補地とされた栃木県矢板市、茨城県高萩市を白紙撤回し選定プロセスを見直すこと。
2. 放射性廃棄物が各地に点在することは問題があり、放射性物質汚染対処特措法に基づく基本方針を見直し、安全な最終処分を行うこと。
3. 国と東京電力株式会社の責任を明らかにして、放射能汚染土壌等の処理・管理方法など、安全性に対する科学的根拠を示すこと。

【提出先】

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 環境大臣  
国土交通大臣

**がんばっています!**

### 八重東小学校(106名)

八重東小学校は、今年度「人權教育の充実や体力の向上、生徒

徒指導の徹底等において、特色ある教育実践を展開し着実に成果を上げ、その成果を広く公表している」として、広島県教育



### 芸北小学校(35名)

芸北小学校は「く世界につながる芸北の空 今日学びが未来をつくるく自分で考え 動くたくましい子の育成」を教育目標に掲げ、「やりぬく!」「視点を変える!」を合言葉に、取

組を進めています。

児童の基礎体力・気力・耐力の向上を図るため、「サスケランド」と称した「いつでも、どこでも」校舎の内外で運動ができる場を設けています。業間時間には「サスケタイム」と称して、いろいろな体の動きを身に

奨励賞をいただくことになりました。保護者・地域の皆様の学校教育へのご理解とご協力あつての受賞と厚く感謝しております。

体力の向上については、北広島町体力向上推進事業指定校として、「体力」(身体力)のみならず、「耐力」(忍耐力)、「帯力」(人間関係をつくる力)の三つの『たい(体・耐・帯)力』の向上をめざして実践研究を行っています。具体的には、特色ある「八重東型体育科授業モデル」を創り全校で共通の授業を行ったり、体力向上のためのオリジナル体操の実施、登山遠足・腕相撲・縄跳び大会、運動会等の学校行事、業間の時間を活用した日常的な体力づくりなどを行っています。

10月には、「八重東オリンピック」を開催し、保護者参加のもと、体力測定・親子対抗リレー・学級対抗縄跳び大会などを行いました。生徒指導については、社会人として必要な基礎・基本の力を組織的に育成しています。重点的に取り組む「気持ちのよい挨拶」「黙って掃除」、他を思いやる「優しさ」の大切さを盛り込んだ八重東小オリジ

ナルテーマソング「きらり☆光れ 八重東」の作詞作曲もしました。歌詞・題名は、児童・保護者から応募を募り、作曲は本校の職員がしました。盛り込んだ歌詞の内容が本校の伝統となるように学校の宝として大切に歌い続けていきます。挨拶達人・そうじ名人等の表彰も行っています。

人権教育については、夢の実現に向けて、ともに高まり合う児童の育成をめざして、自他のよさを認めお互いに高まり合う授業づくり、自己表現力・コミュニケーション力の向上、人の生き方を学ぶ交流・体験活動の充実について、特色ある取組を行っています。



親子で体力づくり体操

付ける「ねこちゃん体操」や「マラソン」「長縄」とびなどに取り組んでいます。家庭でも運動が継続できるよう「体育の宿題」にも取り組んでいます。



サスケタイムのマラソン風景

また、児童の問題行動等の未然防止や健全育成を図るための規範意識の醸成を図るため、「芸小5則」を設定しました。「芸小5則」とは、例えば、「あいさつは 止まっておじぎ 自分から 目を見て笑顔 大きな声で」の標語のようなものです。児童はこの「芸小5則」を覚え、がんばっています。

表現力の向上を図るために「青本」と称した自作音読集を作成し、日本の古典作品の暗唱にも取り組んでいます。1年生から「竹取物語」などを家でも学校

でも繰り返し暗唱しながら覚えていきます。6月に実施された、「第47回交通安全こども自転車広島県大会」では、芸北小学校は3度目の挑戦で24チーム中、準優勝の成績をおさめることができました。この取組を通じた関係者の皆様の多大なる激励や、ご協力に感謝します。

今年が芸北小学校最後の年となります。「充実・感動・感謝 見事に閉じ、次へつなぐ」を合言葉に、一日一日を大切に過ごしていきます。



サスケランドのマーブルコーナー

# グループ紹介

## 千代田FC スポーツ少年団

千代田FCスポーツ少年団は1998年設立の少年サッカーチームです。町内にもたくさんのお客がいらつしやることと思います。現在の団員は小学1年生から6年生を合わせた29名で毎週火曜日、木曜日、土曜日に千代田運動公園と壬生小学校で練習に励んでいます。三次、庄原、安芸高田、千代田地区の18チームが参加する北部リーグで近年は準優勝、3位の成績を残しています。また、全国大会や県大会なども練習の成果を発揮し、団員一丸となつて挑んでいます。監督、コーチ陣はスポーツ少年団の志である「スポーツを通じて心身の健全な育成に資する」ことを目的に、サッカーの技術だけではなく、チームプレーを通し子どもたちの協調性や思いやりの心を養い、自主性を伸ばすことにも心がけ指導をしています。子どもたちはサッカーに対するそれぞれの夢や目標に向かって元気に楽しくピッチを走りボールを追いかけいています。



団員の募集は随時しておりますので気軽に参加してください。

連絡先  
携帯 0901363513079  
(三宅まで)

### 表紙の写真

### 八重西地域の とんど

1月13日の日曜日、八重西地区振興会主催で開催された「八重西地域とんど」は、地域の若者達総出で北広島町一大きいと思えるとんどを作り上げた。

100人を超す地域住民が見守る中、小学生の点火で勢い良く燃え上がった炎は、字が上手になりますようにとの習字や、この1年良き年でありますようにとの願いを天高く舞い上げた。

会場では餅つきが行なわれ、ぜひんざいや焼肉などを酒の肴に地域づくりの話が弾んだ。



### あしがき

新年の1月は、子どもたちにとっても大人にとってもいろいろな行事がある。除夜の鐘つき、年始のお寺やお宮参り、子どもたちはお年玉をもらえてほくほく顔。お雑煮やおせち料理におとそをいただく。久しぶりに帰ってきた息子や孫と和やかな時を過ごす。そして成人式、北広島町は1月13日に新成人223名のうち173名の参加で行われた。私の頃(40年前)は新生活運動とか言われ簡素さを強調され着物はいけないとされていた。当時の集合写真を見ると着物は数人であった。最近では女性のほぼ全員が着物姿である。着物を着なくなったからこそ、節目となる記念日に着る傾向になったのだろうか。

次にとんどであるが、各地域で行われていた。五穀豊穣、家内安全、無病息災等を願いながら竹などで作ったやぐらに門松やしめ飾り、書初めも持ち寄り点火する。竹に挟んだお餅やミカンなどを焼いて食べる。お神酒やぜんざいなどが振る舞われる。こうした昔からの伝統行事がいつまでも、いつまでも続けられる地域でありたいと年頭に考えさせられた。